



東北防衛局広報紙
(東北6県の防衛に関する情報誌)

東北の **かなめ**

(第3号)

平成20年4月25日発行

— 特集 —

震災対応訓練 (平成19年度)
弾道ミサイル防衛用レーダ等の配備

- ・ 感謝状贈呈 (前三沢市副市長)
- ・ セイントバーバラ賞 (前車力分屯基地司令)
- ・ 職場を紹介します
- ・ ホームページ研修
- ・ 「東北の寄り道」山寺・立石寺
- ・ 事故補償制度の周知

10 9 8 7 6 6 4 5 2 3

(三春の滝桜：福島県)

福島県田村郡三春町にある樹齢千年以上のベニシダレザクラ。淡墨桜 (岐阜県)、神代桜 (山梨県) と並ぶ日本三大桜の一つと称され、大正11年に国の天然記念物に指定された。



防衛省東北防衛局編集委員会編集発行
宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3-15
Tel 022-297-8208
ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>

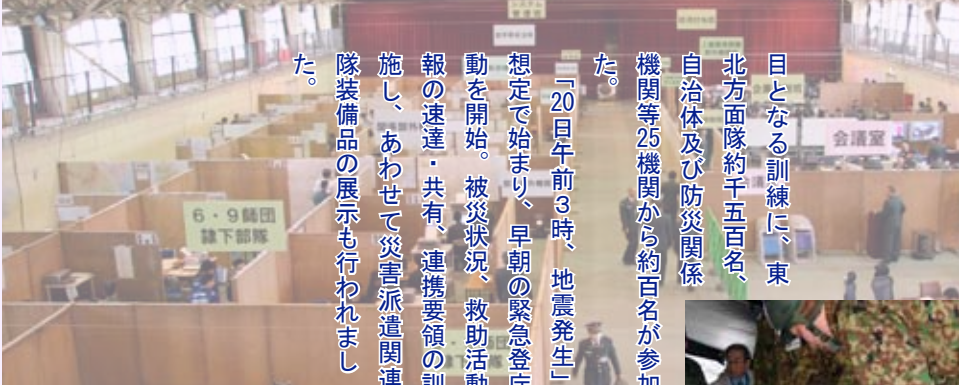
特集 .. 震災対処訓練 (平成19年度)



今回は3月20日と21日、仙台駐屯地で行われた震災対処訓練について、その概要をお伝えするとともに、当該訓練に参加した東北防衛局の職員から、訓練の参加によって得られた教訓、当局の今後の抱負等について述べていただきました。

陸上自衛隊東北方面隊は、3月20日と21日の二日間、仙台駐屯地において、平成19年度東北方面隊震災対処訓練を行いました。

この訓練は、近い将来高い確率で発生すると予想される「宮城県沖地震」を想定し、震災時における自衛隊と関係自治体等との相互の協同連携要領の向上を目的に実施され、今年で6回



目となる訓練に、東北方面隊約千五百名、自治体及び防災関係機関等25機関から約百名が参加しました。「20日午前3時、地震発生」という想定で始まり、早朝の緊急登庁から行動を開始。被災状況、救助活動等の情報の速達・共有、連携要領の訓練を実施し、あわせて災害派遣関連の自衛隊装備品の展示も行われました。



(人命救助セットの体験)



(災害対応用の装備品の見学)

訓練終了後、自衛隊と関係自治体等の意見交換会が行われ、問題点と改善方向について成果が得られました。本訓練は報道機関の取材や関係者の研修も多く、宮城県沖地震に対する高い関心と自衛隊への大きな期待が伺われます。また、今年初めて東北防衛局の職員が本訓練に参加し、協同連携等への理解を深めました。

― 訓練参加職員から ―
地方調整課調整官 今野 昇

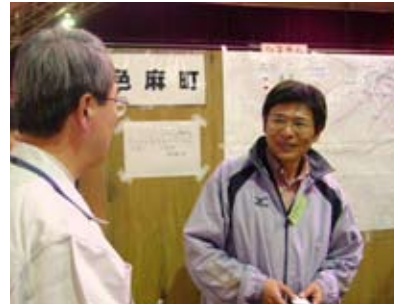
震災対処訓練に東北防衛局から私を含む3名の職員が参加しました。私は、駐屯地体育館内の東北防衛局ブースに席を設け、震災状況が開始されると、各駐屯地業務隊や方面總監部等を通じて、建物等の防衛施設の被害状況の把握に努めるとともに、被害施設の危険度判定、復旧見積もり等の技術的な支援を行うため、当局の担当部署等との調整を行いました。



また、總監部調整所に派遣された当局の連絡員は、情報収集及び局に対する調整事項の確認を担当。作戦会議にも参加して、被害概要や部隊の活動状況を確認するとともに、局の現状や関

わりなどを説明しました。

今回、東北防衛局としては初めての参加であり、全体として手探りの感はやさめないが、震災時における自衛隊及び自治体等の諸活動を理解し、局とし



(色麻町総合振興課の担当者と調整)

てどのような対応が可能なのか考える良い機会となりました。さらに、総監部調整所に当局から連絡員を派遣し相互に連携、調整等を行ったことは、総監部等が当局の役割や対応等を理解する上で、多少なりとも役に立ったものと思います。

いざ本番において十分にその役割を發揮するためには、このような震災対処訓練の参加を積み重ねることが重要であろうと考えます。今後、当該訓練により多くの職員の参加が望まれるところであり、引き続き、当局の役割についての検討や関係機関へのPRが必要と考えます。

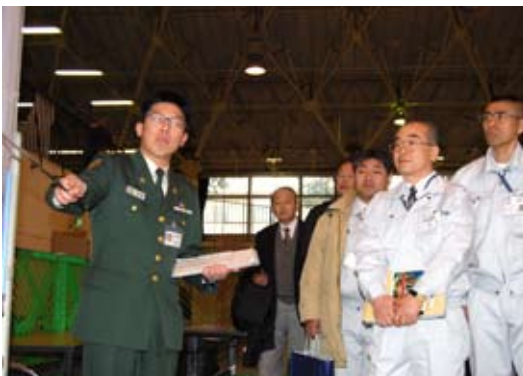
― 研修参加職員から ―

調達部次長 川原 勉

震災対処訓練を研修して、普段からの準備の重要性を再確認しました。

東北防衛局の調達部は建築、土木、電気、機械及び通信の専門知識を有する技術職員の組織です。宮城県沖地震など万一の事態が起きた場合、東北防衛局としても、その組織力を活用して、災害復旧等にもそれぞれの専門知識に応じた貢献ができればと考えています。

その一環として、調達部の職員は、「被災建築物応急危険度判定技術者講習会」にも積極的に参加しており、このような普段からの努力が重要であると痛感しました。



東北の自衛隊の広報行事の紹介

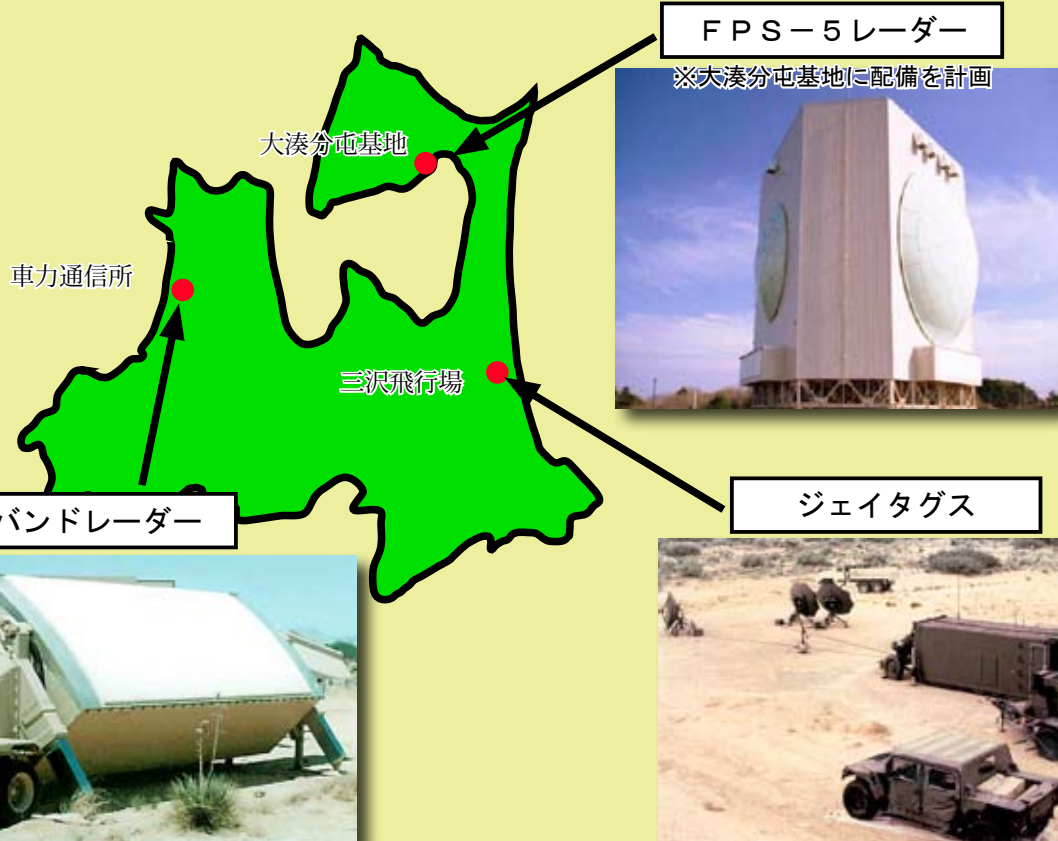
自衛隊（東北管内）が今後予定している広報行事等は、次のとおりです。是非、見に来てください。

開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
平成 20 年 5 月 5 日 (月)	2008 AOMORI 春フェスティバル	青森駅前通り	第9師団広報室 017-781-0161 (内線: 259)
平成 20 年 5 月 30 日 (金)	第32回東北方面音楽隊青少年コンサート	青年文化センター	東北方面音楽隊 022-231-1111 (内線: 3572)
平成 20 年 6 月 1 日 (日)	第9師団創立46周年記念行事 青森駐屯地創立57周年記念行事	青森駐屯地	第9師団広報室 017-781-0161 (内線: 259)
平成 20 年 6 月 1 日 (日)	第52回大滝根山分屯基地開庁記念行事	大滝根山分屯基地	第27警戒群本部広報係 0247-79-2277 (内線: 208)
平成 20 年 6 月 7 日 (土)	ちびっ子ヤング大会	大湊地方総監部	海上自衛隊大湊地方総監部広報係 0175-24-1111 (内線: 2304)
平成 20 年 6 月 8 日 (日)	14周年基地開庁記念行事	東北町分屯基地	第4補給処東北支処総務課総務班 0715-63-3235 (内線: 208)
平成 20 年 6 月 29 日 (日)	岩手駐屯地創立51周年記念行事	岩手駐屯地	岩手駐屯地広報室 019-688-4311 (内線: 584)
平成 20 年 6 月 29 日 (日)	陸・海・空自衛隊合同コンサート'08	青森市文化会館	北部航空方面隊司令部総務部広報班 (航空自衛隊三沢基地) 0176-53-4121 (内線: 2320) ※応募方法等は、三沢基地HP又は当局HPをご覧ください。
平成 20 年 7 月 9 日 (水)	第22回秋田自衛隊音楽まつり	秋田市文化会館	秋田駐屯地広報室 018-845-0125 (内線: 208)

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前にお問い合わせ先にご確認ください。

イル防衛用レーダー等の配備について

近年、青森県内には、重要な弾道ミサイル防衛用のレーダー等施設が配備されています



【1】 Xバンド・レーダーの配備

1. 配備場所：米軍車力通信所
2. 配備時期：平成18年
3. 概要：Xバンド・レーダーは、Xバンドの周波数帯を活用し、弾道ミサイルが飛来する可能性が高い空域を監視するものであり、アンテナ・ユニット及びエレクトロ・ユニット等で構成。

【2】 ジェイタグスの配備

1. 配備場所：米軍三沢飛行場
2. 配備時期：平成19年
3. 概要：ジェイタグス (Joint Tactical Ground Station: JTAGS) は、早期警戒衛星から弾道ミサイル発射に係るデータを受信・処理・配信する情報処理システムであり、処理装置を搭載した車両及び3機のサテライトアンテナ等で構成。

【3】 FPS-5レーダーの配備

1. 配備場所：航空自衛隊大湊分屯基地 (第42警戒群)
2. 配備時期：平成22年予定
3. 概要：航空自衛隊は、第42警戒群 (大湊分屯基地) の現レーダー (FPS-2) を弾道ミサイル防衛 (BMD) に対応した警戒管制レーダー (FPS-5) に平成22年までに換装する計画。

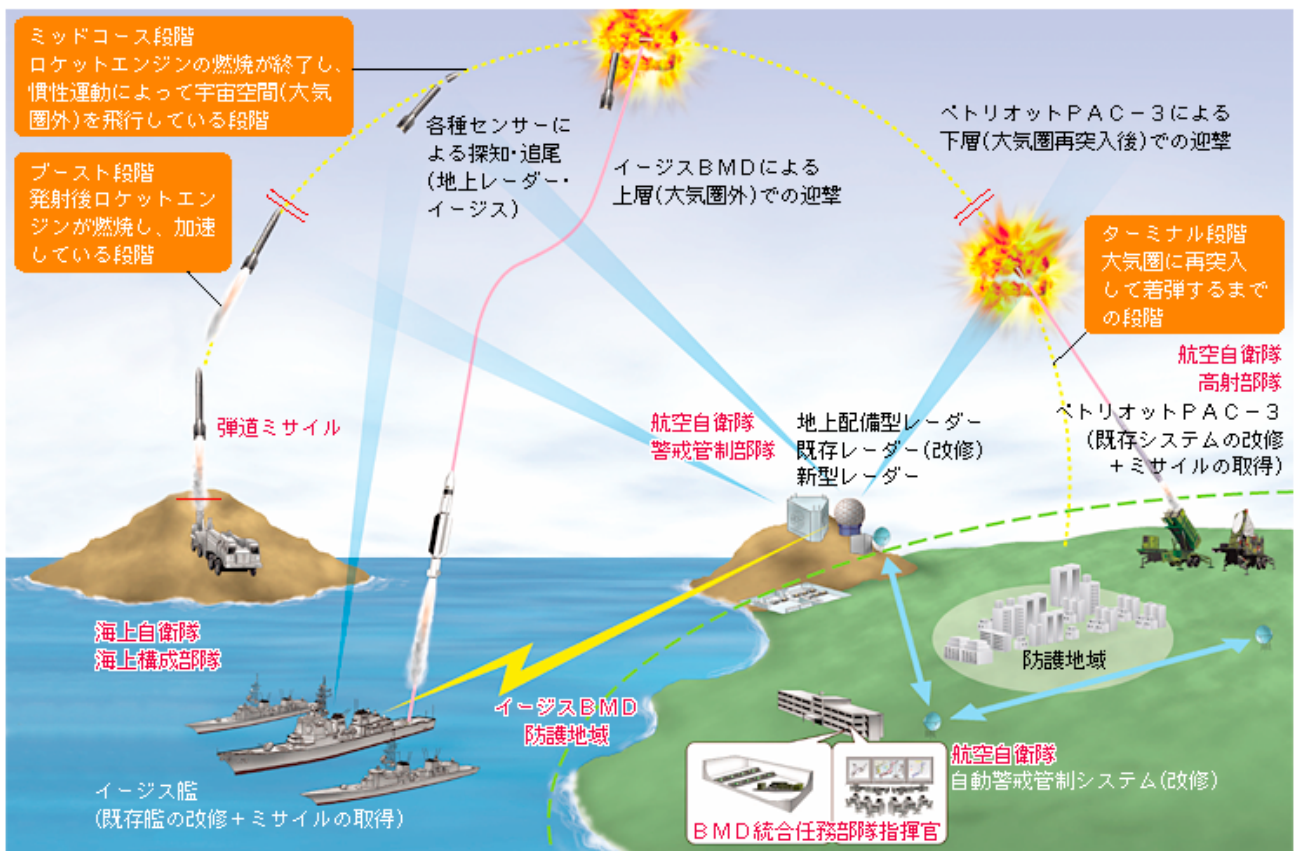
特集： 東北防衛局管内における弾道ミサ

今回は、防衛に関する施策の説明等として、わが国の弾道ミサイル防衛（BMD）について、その概要と東北防衛局管内の配置状況等を解説します。

弾道ミサイル防衛（BMD）については、弾道ミサイル等の移動・拡散が進展する状況にあり、わが国のBMDが弾道ミサイルによる攻撃に対して、わが国国民の生命・財産を守るための唯一の手段であることを踏まえれば、わが国防衛政策上の重要な課題です。

(平成19年度版「日本の防衛」より抜粋)

図表Ⅲ-1-2-2 BMD整備構想・運用構想(イメージ図)



感謝状の贈呈

前三沢市副市長 吉田耕悦氏に
東北防衛局長感謝状贈呈

これまで三沢市副市長として永年にわたり三沢市に所在する防衛施設の安定的な使用に積極的に協力された吉田氏の功績に対し、平成20年2月6日付で、東北防衛局において、酒井局長から感謝状が贈呈されました。



(前三沢市副市長 吉田耕悦氏)

「セントバーバラ賞」を受賞

航空幕僚監部横尾2佐 Xバンド・レーダー安定的運用への貢献により

Xバンド・レーダー(弾道ミサイル防衛用移動式レーダー)の航空自衛隊車力分屯基地への展開については、当局が防衛庁及び防衛施設庁(当時)と共同し、青森県、つがる市、青森県議会、つがる市議会を始め地域住民等に対し十数回に及ぶ説明会を実施。その結果、平成18年3月30日に青森県知事及びつがる市長が防衛庁長官(当時)を訪れ、受け入れ表明がなされました。

その後、同年6月23日、同レーダーが三沢飛行場から分屯基地の暫定展開地に移送され、米軍車力通信所として運用を開始。また、同年7月14日に長期展開地の土地等を提供し、米側において施設整備を行い、平成19年6月15日に暫定展開地から移転し、本格的な運用が行われているところです。

このように地元の理解が得られた後、Xバンド・レーダーの設置・運用まで短期間の内に成功裏に進んだことから、平成20年1月30日、防衛省において航空幕僚監部防衛部装備体系課の横尾広2等空佐が、米陸軍第94ミサイル防衛コマンド日本部長のステー

ヴンA・タウン大佐より*「セントバーバラ賞」を伝達されました。

ステイーヴンA・タウン大佐によると、米陸軍が世界で初めて青森県つがる市車力地区へ配備したXバンド・レーダーに関しては、横尾2佐が車力分屯基地司令として、その在任中(平成18年4月~平成19年8月)に米軍に対し様々な業務支援を実施するとともに、米軍と地域住民との良好な関係づくりに尽力する等、同レーダーの安定的運用への貢献が高く評価され、米陸軍第94対空ミサイル防衛コマンド司令官ロジャーF・マッシュューズ准将名で同賞が贈られたとのことでした。

横尾2佐は、大変名誉なことであり感謝したいと日米関係者に対し受賞の感想を語っています。



(横尾広2等空佐とステイーヴンA・タウン大佐)

※セントバーバラ賞(The honorable order of Saint Barbara)は、米国防空砲兵協会(Air Defence Artillery Association)から主として米陸軍高射部隊の功労者に対して贈呈される名誉ある賞である。その名は約1700年前の聖女セント・バーバラに由来。彼女がキリスト教に改宗したことを激怒して殺そうとした父が雷撃によって絶命したという伝説から、セント・バーバラは「防空砲兵の女神」として崇められている。

職場を紹介します

― 若手職員から

所属する部署を紹介 ―

調達部建築課 荒山 のぞみ

私が勤務している建築課について紹介します。

当局建築課は、東北六県の自衛隊及び米軍関係の防衛施設の建設が主な業務です。設計・積算・現場監督等と多岐にわたり、特に防衛施設は食厨、局舎及び隊舎等の多種多様で特殊な建物が多いので、日々勉強となっております。



(松島基地内の建築工場の現場にて)

現在、私は主に工事監督として現場において技術的な指示等を行っていますが、まだまだ知らない事がたくさんあります。もしかすると現場から学ぶ事の方が多いのかもしれませんが、一方、

施設が完成した時の喜びは一入、一言では言い表せないくらい感動ものです。

このように、建築課は、経験すればするほど自分のスキルアップに繋がる素晴らしい職場なのではないかと思えます。また、職場の方々も建築課長はじめ親切で良い人達ばかりです。



休日には、職場の有志でフットサルを行いストレス発散をしています。土曜日の朝からの運動はとても爽快、業務上では関わることもない他課の方達と交流できるのも魅力の一つとなっています。

生まれ育った九州を離れ早4年が過ぎようとしています。公私共に充実した毎日を送ることができ、本当にこの職場で良かったと感じる毎日です。

郡山防衛事務所 氏家 理

はじめまして、郡山防衛事務所総務係の氏家です。

当事務所は、平成18年7月末に整備本部東京支部の事務所として発足し、昨年9月の組織改編により東北防衛局に仲間入りした新しい組織です。事務所は陸上自衛隊郡山駐屯地内にあるので、業務上、部隊の方々と接する機会が多くあります。「部隊」というと厳しいイメージもありますがとても気さくで優しい方ばかりです。



(事務所内で、検査官たちと)

さて、当事務所には、所長以下、原価検査官、検査官等の12名が勤務しています。主に、自衛隊の部隊等が使用する装備品、衣類や食料品等の調達に
関し、東北六県に所在する企業が契約

書のとおり履行しているかチェックする検査等業務を行っています。この検査等業務は、調達品に対する信頼性や安全性に関わる重要な責任があるので、眼光の鋭く、仕事では厳しい検査官たちですが、普段は優しい(はず?)方々ばかりです。私は、検査官の方々がその重要な任務を円滑に遂行できるように、日々、係長の指導の下、業務に励んでいます。

仕事柄、事務所の中での仕事が多いこともあって、休日は外に出かけるのが好きです。特に昨年の秋に念願の私有車を購入してから、天気の良い日は友人や家族とドライブしたり買い物に行ったりしています。これから暖かい季節になりますますます楽しみます。



(いつもお世話になっている駐屯地業務隊長以下業務隊の皆さん)

ホームページ研修の実施



3月4日及び5日の二日間、東北防衛局のホームページ作成に係る基礎的知識を習得するため、ホームページ研修が行われました。当局の関係部課等から職員12名が参加し、ホームページの仕組みから、作成の手順、リンク設定、写真等の効果などを学びました。

研修終了後、各研修受講者は、当研修を担当した㈱マイクロメイツから修了書をいただきました。

受講者の三沢防衛事務所の須田係員は「事務所の業務内容等に広く興味を持ってもらえるようなHPにしたい」、地方調整課の

浅水係員は「写真や表のレイアウトを工夫して、親しみやすいHPを作りたい」、調達計画課の久保瀬係長は「調達部の業務内容をより一層分かりやすく紹介したい」、そして、契約管理室の高森係員は「HPで、競争参加資格の申請方法を分かりやすく説明したい」と、今後の抱負を述べています。

東北防衛局ホームページは、更に充実した情報の提供に努めてまいります。ご期待ください。



陸上・海上・航空各自衛隊音楽隊の合同コンサートが、6月29日(日)、青森県の青森市文化会館で行われます。

ご希望の方は、往復はがきに、氏名、住所、希望公演回及び希望人数等をご記入の上、下の住所までご応募ください。

〒033-8604 三沢市大字三沢後久保125-7
北空司令部総務部広報班「合同コンサート」係

応募期間は、平成20年4月14日から5月14日の間。

詳しい応募方法等については、北部航空方面隊司令部総務部広報班(Tel 0176-53-4121)にお尋ねください。

なお、左のポスターについては、東北防衛局ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

東北防衛局ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>

北部航空方面隊ホームページ <http://www.mod.go.jp/asdf/nadf/top/index.htm>

東北の寄り道

山寺・立石寺



山形県山形市、仙山線に「山寺駅」がある。この駅を下り、宝珠橋を渡って左側に進むと、山寺・立石寺への登山口がある。登山口から立石寺本堂・根本中堂を通り、芭蕉像を過ぎると山門が現れる。この山門から細く険しい山道を登ることになる。この立石寺は、平安時代、清和天皇の勅命を受け、天台宗の円仁（慈覚大師、最澄の弟子）が開山したとされる。中世以降の立石寺は幾多の戦禍と再興が繰り返された。山形城主であった最上家は、戦国時代の戦乱で焼失した立石寺の荒廃を嘆き、諸堂の再興に努めたといわれる。山上の五大堂には天下泰平の祈願のため五大明王が祀られている。切り立った崖に突き出た御堂から見る景色はまさに下界を見る感である。当寺を庇護した山形城主最上家は眼下に広がる当地の天下泰平を祈ったのであろう。



(最上義光の像)

その最上家の第11代当主に最上義光がいる。最上義光と関わりのある人物を調べると、敵味方を含め歴史上の大物傑物がずらりと出てくる。秀吉の死後、徳川家康と上杉景勝の対立が深刻化。慶長5年（1600年）6月、遂に家康は景勝の領地会津征伐を開始。『慶長出羽合戦』の始まりである。義光や伊達政宗ら奥州諸将は徳川方に味方し最上領内に集結したが、家康が会津征伐に赴く途中、石田三成の挙兵の報が伝わると、家康は急遽反転西上。これを受け奥州諸将が引き上げる中、最上義光軍だけが景勝軍と対峙。9月8日、

上杉軍は宰相直江兼継（2009年放送予定のNHK大河ドラマ）の軍勢により最上領に侵入。上杉軍の圧倒的な軍勢の前に、最上軍は次々に城が落ちる中、長谷堂城だけがねばり強く善戦した。9月29日、関ヶ原の戦いで石田三成率いる西軍大敗の報が直江兼継のもとにもたらされると、攻守逆転し、上杉軍は撤退を決断。最上軍はこれを追撃するも、兼継率いる上杉軍は追撃を振り切り無事米沢に帰還した。あまりの見事な撤退戦であったため、敵将である義光や家康も直江兼継を称賛したという。この戦の後、天下を取った徳川家康は、最上義光の功績を認め、出羽山形57万石を与えた。最上義光が立石寺に祈願した天下泰平の世となって約90年後の元禄2年（1689年）、俳人・松尾芭蕉が当寺を訪れ、山上の御堂まで登った。そのすばらしい景観と静けさに心を打たれ詠んだ「閑さや岩にしみ入る蟬の声」の名句が、根本中堂や芭蕉像脇の碑に刻まれている。

編集後記

「東北のかなめ」第3号の表紙には、春：桜をテーマとして、満開の「滝桜」（福島県田村郡三春町）を掲載しました。また、特集として平成19年度東北方面隊震災対処訓練、弾道ミサイル防衛（BMD）の解説、また、新たに若手職員からの職場紹介（建築課、郡山防衛事務所）、そして、東北の寄り道には山寺・立石寺（山形）を取り上げました。三春の滝桜は例年4月の中旬ごろから咲き始めます。また、滝桜がある三春ダム近辺にはこの他に不動桜、地蔵桜など桜の名所があり、毎年、多くの桜ファンで賑わいます。4月1日の異動により、編集委員会も新たな委員が加わりました。今後とも、地方における防衛の拠点として、防衛に関する政策の説明等や職員の顔が見える親しみのある広報を目指し、鋭意、努めてまいります。



事故補償制度の周知について

東北防衛局は、米軍関係者の事件・事故等が発生した際、その被害者が地位協定による補償制度を適切に受けられるようにするため、事故補償制度の周知、広報を図っているところではありますが、今般、より一層の周知等を図るため、基地所在市町村等や関係警察署の窓口「事故補償に関するリーフレット」を置かせて頂くこととなりました。

(事故補償に関するリーフレット)

米軍人・軍属との交通事故などで損害を受けられた方へ

東北防衛局

当局は、「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第6条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定(昭和35年条約7号)」に基づき、合衆国軍隊又はその構成員等の不法行為等により損害を受けられた方(被害者)又はその遺族に対する損害賠償等の業務を行っております。

- ※ 合衆国軍隊等の行為等が「公務執行中の場合」
 - ・日本国政府が賠償金を支払います。
 - ・賠償金を請求できる期間は、損害の発生及び加害者を知ったときから3年以内です。
- ※ 合衆国軍隊等の行為等が「公務執行中でない場合」
 - ・原則として加害者との示談解決になりますが、加害者に賠償金を支払う能力がない場合や加害者の保険で解決できない場合は、合衆国政府が補償金(慰謝料)を支払います。
 - ・補償金を請求できる期間は、損害の発生したときから2年以内です。

つきましては、これら損害を受けられた場合は、最寄りの警察署へ通報すると共に、次の連絡先までお問い合わせください。

東北防衛局企画部業務課 事故補償係
 〒 983-0842
 宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15 仙台第三合同庁舎
 TEL 022-297-8211
 (事件・事故等の発生地が岩手県・宮城県・秋田県・山形県及び福島県の場合)

三沢防衛事務所業務課業務第二係
 〒 033-0012
 青森県三沢市平畑1-1-31 TEL 0176-53-3116
 (事件・事故等の発生地が青森県の場合)